

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
北海道	奥尻町	奥尻島	平成19年度～ 平成23年度	平成19年度～ 平成21年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林水産物処理加工施設	①実施設計 ②ワイナリー工場（鉄筋造2階建て1,450㎡）、駐車場整備		農業生産法人 株式会社 奥尻ワイナリー	
農山漁村活性化施設整備附帯事業	PR用パンフレット及びポスター			

1 目標達成に向けた取組

本年度実施方策	<p>原料となる醸造用ぶどうの収量及び品質の向上のため、ほ場の基盤整備を昨年度より引き続き実施するとともに、新たなほ場の造成を行う。</p> <p>また、ワインの販売拡大のため、新商品の開発や広告、都市圏での売り込みを実施する。</p>
本年度実績	<p>・本年度の活性化目標の達成状況については、(活性化目標：地域産物の販売額の増加率) 当初計画 (H19～H23) 4.92%① 本年度実績(H21～H25) 2.95%② 達成率(②/①) 59.96%となった。</p> <p>・実施方策の実行については、原料となる醸造用ぶどうの排水改善が必要なほ場の全てで完了し(H24 12.77ha、H25 8.14ha)、さらに1haのほ場造成を実施した。</p> <p>また、販売拡大策として女性をターゲットにしたロゼワインの発売、函館空港テナントへの出店、テレビコマーシャル、都市圏での商談会やフェアで売り込みを行った。</p>
所見	<p>・ワインの仕込み量について 平成23年産 27,618リットル(H24以降販売) 平成24年産 53,061リットル(H25以降販売) 平成25年産 64,388リットル(H26以降販売)</p> <p>・活性化目標の達成率について 平成23年度実績 21.34% 平成24年度実績 35.16% 平成25年度実績 59.96%</p> <p>・醸造用ぶどうの苗木の成長や、管理技術の向上とともにワインの仕込み量についても増加しており、また今後は排水改善策の効果も期待できることから、収量及び品質の向上について期待できる。</p> <p>・地域の特産品として、飲食店や土産品として地元商店などに常備されるとともに、函館空港への出店・テレビCMにより、知名度とニーズが高まってきているため、目標達成に向け、さらなる販路拡大の取り組みを継続的に行う必要がある。</p>

- ※ 事後評価時に策定した改善計画を添付すること。
目標達成年度まで毎年度策定し、9月末日までに報告すること。